

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0105	政策名	農工商観連携の推進	施策主管課	定住推進課	課長名	鈴木 早織			
政策の目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています									
施策No	02	施策名	特産品の開発	関係課名						
施策の目指す姿	地場産品を活用し付加価値の高い多くの商品を開発しています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者等が6次産業化に取り組むには、生産、加工、販売、経営の全てを行う必要があることから、加工・販売施設整備には初期投資の負担が大きいため、6次産業化に取り組むことを躊躇している事業者がみられる状況です。</li> <li>・既存事業者の多くは、消費者ニーズに即した商品開発や販路開拓に苦慮している状況です。</li> <li>・全国的なコンクールにおいて賞を受賞するワインや自らが栽培したぶどうを使用したレーズンなど、付加価値の高い商品やサービスを生み出そうとする取組が行われているほか、市内で生産されたぶどうやりんご等を原料とした果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化のため、平成28年度に国の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受けており、平成31年4月に特区制度を活用したワイナリーが設立されています。</li> <li>・大迫地域のワインは50年以上の歴史があるものの、日本ワインの産地としての岩手県、花巻市の認知度は、首都圏をはじめとする県外においてはまだまだ低い状況です。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者等が6次産業化に取り組むには、生産、加工、販売、経営の全てを行う必要があることから、加工・販売施設整備には初期投資の負担が大きいため、6次産業化に取り組むことを躊躇している事業者がみられる状況です。</li> <li>・既存事業者の多くは、消費者ニーズに即した商品開発や販路開拓に苦慮している状況です。</li> <li>・全国的なコンクールにおいて賞を受賞するワインや自らが栽培したぶどうを使用したレーズンなど、付加価値の高い商品やサービスを生み出そうとする取組が行われているほか、市内で生産されたぶどうやりんご等を原料とした果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化のため、平成28年度に国の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受けており、平成31年4月に特区制度を活用したワイナリーが設立されています。</li> <li>・大迫地域のワインは50年以上の歴史があるものの、日本ワインの産地としての岩手県、花巻市の認知度は、首都圏をはじめとする県外においてはまだまだ低い状況です。</li> </ul>										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化に興味・関心がある事業者に対しては、引き続き必要な知識や技術などの習得機会の提供とビジネスプラン作成に対する支援を行うとともに、事業着手している事業者に対しては、それぞれが抱える課題に沿ったテーマ別のセミナー等を開催し、きめ細かい支援を行っていく。</li> <li>・ワイナリー建設志向者に対しワイナリー整備に向けた各種支援を実施するとともに、花巻ワインの認知度向上のためWEBサイト等を活用したプロモーションを実施する。</li> </ul>										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業者をターゲットとしてマーケティングやコロナ禍でニーズの高まりが見込まれるECサイトの活用に関するセミナーの開催、個別相談会の実施など、事業者の課題に沿った支援を実施した。</li> <li>・ワイナリー事業者やワイナリー建設志向者を対象としたマーケティング戦略セミナーや日本ワインの最新事情等を学ぶセミナーの開催により、ワイナリー経営を学ぶ機会を提供した。また、コロナ禍においてイベント等の実施が激減する中、首都圏等での花巻ワインフェアやWEBを活用した展示会を実施した。</li> </ul>										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 特産品開発と販路拡大の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化に必要な技術・知識の習得支援</li> <li>・6次産業化志向者及び実践者を対象としたセミナー・個別相談会の開催</li> <li>商品開発や加工技術、販路開拓等の事業者の課題に沿った支援</li> <li>加工・販売施設整備に対する支援</li> <li>新たな加工品開発、加工施設整備等に係る経費の一部を補助</li> </ul> </li> <li>(2) ワイン・シードル等果実酒の製造支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>醸造技術習得に対する支援</li> <li>醸造技術の習得・向上を図るため醸造志向者の研修受入れに係る経費の一部を補助</li> <li>ワイナリー建設志向者に対する商品開発や販路開拓等に対する支援</li> <li>醸造技術・ワイナリー経営等に関するセミナーの開催</li> <li>新規ワイナリー整備や既存ワイナリーの設備導入等に対する支援</li> <li>ワイナリー整備、商品開発等に係る経費の一部を補助</li> <li>花巻ワインの販路拡大とワイン産地としての認知度向上を目的としたプロモーション活動の実施</li> <li>首都圏等でのワインプロモーションイベントの開催</li> </ul> </li> </ul>										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
市の支援により地域資源の高付加価値化に取り組んでいる事業件数	地場産品を活用した高付加価値化に取り組むことで、農業者の所得が向上するとともに、地域産業が活性化していることを示す指標(新商品及び新規事業者の増加)	出典：定住推進課 6次産業化に関する市補助金制度を活用した事業所数 補助金名：農工商連携事業補助金(加工品開発、加工施設・機械整備) ワイナリー整備等事業補助金(商品開発・販路開拓、新規ワイナリー設立をカウント。既存ワイナリー対象メニュー(醸造設備導入、試飲室・直売所整備、販路開拓)を除く。	件	目標値				5.00	5.00	5.00
			実績値					9.00		
市の支援が終了後も地域資源の高付加価値化への取組を継続している事業件数	地場産品を活用した高付加価値化に取り組むことで、農業者の所得が向上するとともに、地域産業が活性化していることを示す指標(6次産業化に関する事業の継続状況)	測定方法：年度末における事業の継続状況を調査する。 対象：6次産業化に関する市補助金制度を活用した事業所	件	目標値				22.00	24.00	26.00
			実績値					22.00		
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>成果指標「市の支援により地域資源の高付加価値化に取り組んでいる事業件数」・・・【達成度 a】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農商工連携事業補助金を活用し、新規参入者や既存事業者が新たな取り組みとして生産規模を上げた。また、ワイナリー整備補助金を活用し、新規ワイナリー設立に向け、施設整備や商品開発などの取り組みが行われたことにより、目標値を上回る結果となった。</li> </ul> <p>成果指標「市の支援が終了後も地域資源の高付加価値化への取組を継続している事業件数」・・・【達成度 a】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度までに農商工連携事業補助金を活用した25事業のうち19事業が事業継続をした。また、ワイナリー整備等事業補助金を活用した3事業が、ワイナリー設立及び商品開発など事業継続をしたことにより、目標を達成する結果となった。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（6次産業化推進事業）6次産業化に興味・関心のある事業者が一定程度存在しており、事業化に向け継続的な支援を行っていく必要がある。</li> <li>・（花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業）ワイナリー建設志向者に対し、醸造技術習得や醸造設備等の整備に対する支援を行うとともに、本市がワイン産地であるとの認識がまだ低いことから、WEBサイト等を活用し首都圏等へ向けた情報発信を引き続き実施し、ワイン産地としてのPRを行っていく必要がある。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
なし

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化推進事業については、生産から加工・販売まで生産者が1人で完結することは難しく、6次産業化に必要な技術の習得や商品開発、販路開拓、経営能力など様々な課題があることから、引き続きセミナーの開催や個別指導を実施する必要がある。</li> <li>・市内事業者が「花巻クラフトワイン・シードル特区」を活用したワイナリーを設立する見込みであることから、醸造技術習得や設備導入等に対する支援、花巻産ワインの販路拡大とワイン産地としての認知度向上を図る必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化推進事業について、既存事業者に対しては引き続き商品改善や新規商品開発にかかる支援の実施、コロナ禍においてニーズの高まりが見込まれるECのサイト活用やWEBでの販路開拓等をテーマとしたセミナーを開催するほか、新規事業者に対しては6次産業化に必要な技術や知識の習得など、対象者に沿ったきめ細かい支援を実施する。</li> <li>・ワイナリー設立予定の事業者に対してはワイナリー建設や設備導入に対する補助など各種支援を実施する。花巻ワインの認知度向上のため、WEBサイト等を活用し首都圏等へ向けた情報発信を引き続き実施するとともに、コロナ禍において首都圏等でのイベント開催が難しいことから、県内を対象とした小規模イベント等の実施も検討する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
030	<b>6次産業化推進事業費</b>	定住推進	一致	直結	A
	6次産業化志向者を対象に、専門的知識習得を目的としたセミナーを開催 (セミナー開催回数 3回、延べ参加者数 35人、個別相談会 1回、参加者数 5事業者7名)				
031	<b>6次産業化推進事業費</b>	定住推進	一致	直結	A
	地元の農畜産物を活用した付加価値の高い新商品の開発や販路拡大等を支援 (農商工連携事業補助金交付件数 6件、交付金額 2,491,000円)				
040	<b>花巻クラフトワイン・シードルブランド化推</b>	定住推進	一致	直結	C
	醸造技術の習得・向上を図るため志向者の研修受入れに対する支援、醸造技術・ワイナリー経営セミナーを開催 (醸造技術習得支援補助金交付件数 1件、交付金額 35,000円/セミナー開催回数 2回、延べ参加人数 17人)				
041	<b>花巻クラフトワイン・シードルブランド化推</b>	定住推進	一致	直結	C
	新規ワイナリー参入や既存ワイナリーの商品開発、設備投資等を支援 (ワイナリー整備等事業費補助金交付件数 8件、交付金額 8,361,000円)				
042	<b>花巻クラフトワイン・シードルブランド化推</b>	定住推進	間接・ 少数	間接・ 補完	C
	ワイン産地としての認知度向上のため、首都圏等でのプロモーションイベントを開催 (ワインフェアR3.8~3.31 参加 4社 9店舗、W E B 展示会R3.2.24~2.26閲覧回数 87回、W E B 商談回数 8回)				